

第3回魅力発信部会の内容（要旨）

1 説明報告内容

（1）第4回リニア駅周辺整備検討会議における協議内容の報告

- ①第3回リニア駅周辺整備検討会議、トランジットハブ・道路ネットワーク部会、魅力発信部会の開催状況について確認
- ②今後のスケジュールについて、第Ⅱ四半期に開催予定の第7回検討会議には部会として魅力発信施設に備えたい機能についてのまとめを報告し、その後、アイデア募集に寄せられたアイデアを踏まえたうえで再度検討し、第Ⅲ四半期に開催予定の第8回検討会議に最終的な検討結果として報告することを確認

（2）新幹線駅周辺の魅力発信施設の事例について確認

- ①新幹線駅周辺の魅力発信施設の事例について説明
- ②参考とすべき内容についての確認

（3）魅力発信施設等に関する提案書について確認

- ①各委員から提出された提案書のまとめについて説明
- ②魅力発信施設の整備計画に盛り込む必要がある方針1に関する備えるべき機能について確認

（4）リニア駅及びその周辺の整備・まちづくりに関するアイデア募集について確認

- ①リニア駅及びその周辺の整備・まちづくりに関するアイデア募集の内容について説明
- ②魅力発信部会としては、内容を限定せず広くアイデアを募集することを確認

2 主な意見

- ・駅周辺施設の規模はどの程度を想定しているのか。木古内の規模をイメージすればよいのか。
→ 駐車場規模750台分を見込んでいるがこれらを除いたおよそ3.5haの中に魅力発信施設や広場などを配置していくことになる。
- ・大都市においては、駅舎に土産物屋のような施設が付属している形が多い。糸魚川あたりは独特な取り組み事例ではないか。
- ・部会にはミッションがあるのだが、検討範囲が広がってきている。また、整備計画をつくる過程が見えてこない。
- ・観光案内機能、観光資源を磨いたうえでそれらを発信する機能は当然必要となってくる。交流・体験では、地域団体・住民も参画する形で物販や飲食も含めた機能を持たせるべきである。
- ・伊那谷らしさは何であるのか悩んでいたが、提案の中にある「信州・伊那谷を感じる」これがキーワードではないか。魅力発信施設で何を発信するのかはこれに集約されていると思われる。
- ・駅周辺に全てが集結するのではなく、ここが起点となって各地域へ足を運んでもらえるような施設としたい。実際に来ることによって発見できる、来ないと分からない情報を提供・発信したい。
- ・リニア駅近くの旧飯田工業高校跡地に産業センターの移転を計画してく中で、新しい機能として産業を中心とした情報発信、体験、物販、飲食といったものを考えている。時期としては、リニア開通前となるわけなので、リニア開通に向けて必要なものについての検討をすすめているところである。

- 提案の内容が、魅力発信施設が備える機能と駅舎が備える機能とが混在している。魅力については、オール信州、伊那谷、南信州で考え方が違うので切り口を分けて検討する必要がある。また、観光、ビジネス、交流（二地域居住など）目的ごとによる魅力発信が必要ではないか。
- 駅は駅本来の機能を充実させるべき。対象やエリア、展開の段階による機能ごとに検討を進めることが必要ではないか。

3 その他

- 提出された提案については、事務局で再度、整理したうえで次回部会の開催前に各委員に送付し、次回の第4回魅力発信部会において意見交換する。
- 次回部会は、第6回検討会議前の5月中旬から下旬で調整する。

魅力発信施設等に関する提案(リニア駅周辺整備基本構想 基本方針1)のまとめ

	長野県 信州首都圏総合活動拠点 上伊那地方事務所 下伊那地方事務所 信州・長野県観光協会	上伊那広域連合	伊那市	駒ヶ根市	駒ヶ根観光協会
観光案内機能	○広域観光を推進するためのワンストップ機能 ・広域観光案内、二次交通の案内、体験プログラムの予約・受付	○二次交通の案内機能	○周遊プランの提案機能 ・周遊プラン、見どころ、食べどころを提案できるデジタルサイネージ ・コンシェルジュ、パンフレット配置	○観光情報発信機能	○広域観光情報の提供機能
情報発信機能		○県内全域の観光情報の発信機能	○海外へPRできる情報発信機能 ・エリアの魅力を海外へ発信、来訪提案	○文化・歴史発信機能	○伝統芸能・文化を大型スクリーンで紹介
体験・交流・イベント機能	○観光客と地域住民との交流の場 ・再来訪につながる、観光客との交流による伝統芸能・イベントの開催 ・観光事業者だけでなく地域団体や住民が参画		○多目的イベントへの対応機能 ・体験教室、物販、各種相談会など各団体がイベントを開催できる設備や備品の設置	○イベント広場機能	
物販機能		○道の駅的な施設、県内の広域的な農産物や物産の販売	○季節感ある地元食材販売機能 ・旬の食材の販売、調理方法の紹介、実演	○名物・特産品販売機能 ○各地のミニアンテナショップ機能	○名産品・特産品販売機能
飲食店機能			○地域食を堪能できる機能 ・リニアバレー構想エリアのご当地食、ご当地スイーツ	○郷土料理飲食機能	○郷土料理提供機能 ・一週間単位等で交代する郷土料理レストラン
その他		○工業製品、工場見学ができる企業の紹介 ○移住・定住に関する情報発信	○二地域居住の提案機能 ・身近な田舎をキーに二地域居住の提案	○工業製品等紹介機能 ○移住相談・職業相談 ○足湯・温泉機能 ○簡易宿泊機能	○農林水産物・工業製品紹介機能 ○移住相談・紹介 ○テーマパーク機能 ・飯田線のレールパークを開設 ○災害時緊急避難受入施設機能

	南信州観光公社	飯田商工会議所	駒ヶ根商工会議所	商工連上伊那支部	商工連南信事務所	JAみなみ信州
観光案内機能	○観光案内機能(飯田市、下伊那郡及び上伊那・木曾) ○観光ガイド、各種案内人の手配	○フリーWi-Fi機能	○広域観光に関する情報提供 ・人、パンフによる観光案内、インターネット環境の整備	○基本情報、モノ、サービス、拠点の検索機能や常駐案内人の設置 ○インバウンドを意識した言語対応		○地域総合案内所機能
情報発信機能		○一年を通じてトータル的に魅力発信できる機能		○田舎暮らしのよさをアピールする映像、音楽、モノ、データの展示 ○地域の今を紹介する表示板(自然環境や社会環境)		○「信州・伊那谷を感じる」駅空間機能 ○地域総合広報機能
体験・交流・イベント機能	○地域情報見本市機能	○イベントに対応できる施設の整備(電気・ガス・上下水道)	○地元住民のための有益な情報提供の場(例えば道の駅的施設)	○触れる、食する、感じる、体験する場の提供		○「東京にいちばん近い田舎」(都市と農村の交流) ・長野県駅を起点とした広がり ○地元住民が楽しみ交流できる駅空間
物販機能		○道の駅的な利用	○地域を代表する食べ物や土産品などが提供できる場	○名産品(地域固有や都会固有)の物販		○「食と農を大切にする緑の伊那谷広場」(食の安全安心) ○付加価値のある地域ブランドの集積・発信
飲食店機能	○一服機能(飲食店併設も含めて)					
その他	○ビジネスサポート機能 ・打合せスペース、ツアー受入れフォロー、営業・広報等	○交番機能	○電車、バス、タクシー、レンタカー、レンタサイクルなど様々な交通手段の整備	○地元住民向けの首都圏・中京圏等の情報提供及びアクセス案内 ○地域に関係するクイズ(景品付き、ロボットが対応)	○定住・移住・iターン・Uターンに関するライフスタイルの提案 ・人材確保、創業、企業誘致に結びつける	○高度なトランジットハブ機能 ・地域への広がりアクセス機能向上